

自ら学び、創造する人材へ



若手、業界未経験者を配属までに

ITエンジニアとして基礎知識、働く意識、責任感を育てる

# 通年開講 プロエンジニア育成コース (Java1~3ヶ月)



**ジョブサポートは**  
**「Web開発のプロフェッショナルを育てる」**  
**エンジニア研修会社です**

**約20年、2500名以上の若手エンジニアを中心に教育実績**

## ・ 未経験者の「IT知識」の格差

- 学歴・プログラム経験不問で採用活動を行う場合、職歴、プログラム知識の有無でスタートラインが違う

↳ 既にスクール、職業訓練学校等で開発演習体験がある人、PCの扱いになれてない人が混在

↳ 共通して手に職をつけたいという意思が強い状態。研修開始で現実を知りショックを受ける人が多くケアが必要

## ・ 「非言語コミュニケーション・マナー」の個人差

- アルバイト・仕事など個人が役割を持ち、チームで一つの目標達成を目指す経験の有無でバラつきが出る

↳ 年齢問わず経験の有無で配属後、周囲からサポートの得られ方でメンタルに影響が出てる

↳ 知識を詰め込むだけでは効果がなく、失敗を極端に恐れ実行できない傾向が強い

## ・ 社会人、エンジニア職として「働く意識」の差

- 働く準備ができ覚悟を持っている人、手に職がほしくて何となく就職した人、何も考えてない人など個人差が激しい

↳ 入社時までエンジニア職の仕事をイメージできてない、会社へ入社がゴールの未経験者も多い

↳ 表面的にやる気は示すが行動変容がない人は配属後に限界を感じて早い段階で他業界へ転職してしまう

- Web開発に必要な「**技術の基礎強化**」

- 独自の研修カリキュラムでの学習、Java理解度チェックと復習を促し、基礎知識の定着を図ります

- ※研修テキストはPC、ネット環境があれば自宅でも復習できます

- 開発演習で実務に近い経験。基本設計書を参考に「**詳細設計～結合テスト(単体テスト仕様書作成含む)**」を実施

- エンジニアとして「**働く意識・責任感**」が身に付く

- スケジュール管理、報告・連絡・相談**、セキュリティ意識など配属後に求められる行動を身に付けます

- リモート・出社スタイルどちらの働き方でも対応できるようになります

- 「**個別指導**」で受講者のレベルに合わせた研修ゴールを柔軟に調整

- 研理解度の高い人には応用力、未経験者・理解力が低い人には基礎強化と相手にレベル合わせた適切な指導

- 集合・オンライン、どちらも成果の差はなく受講者のレベルに合わせた指導で、成功体験を積みながら理解度を高めます

- 講師と日々のやり取りからコミュニケーション・非言語コミュニケーション(通学時の場合)を指導**

**SE・PGに必要な基礎技術を身に付け、若手社会人として配属できるレベルを目指します**

## ・「問題解決力」を身に付ける教育

- すぐに「**答えを教えずヒントを提供する**」自学形式で「**考える力**」を身に付け、2~3年後も見据えた指導
- 自社サービス、請負・受託、客先常駐などエンジニアとしてどのスタイルで働く事が可能
- 聞く主体の座学を減らし、個別指導で受講者のレベルに合わせた人材育成を行います

## ・「開発環境(言語・バージョンなど)に影響されない技術」を身に付ける

- Javaの基礎理解+問題解決力を身に付け、変化の激しいWeb開発でもスキルチェンジができるようになります
- 客先常駐であれば、将来的に高単価を稼げるエンジニアとして貴社で活躍できます
- ※ジョブサポートのエンジニアがJava→TypeScrip、Ruby、PHP、Pythonなどへスキルチェンジの実績あり

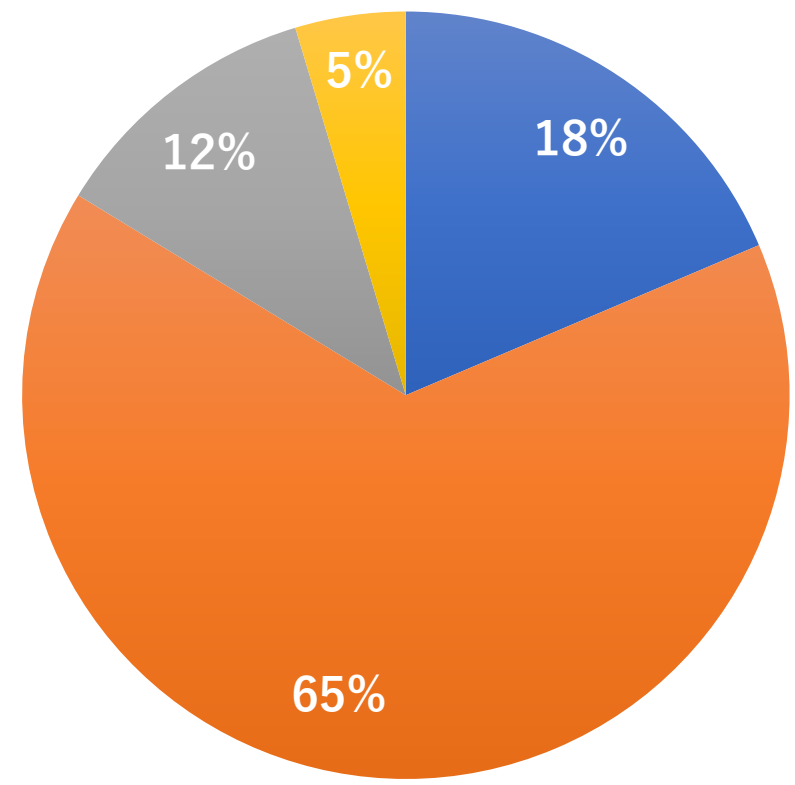
## ・自社、グループ会社の常駐先Web開発プロジェクトで評価されている

### エンジニアから情報収集を行い研修へ活用

- 請負・受託開発、SES・派遣先などで評価、求められるエンジニアの傾向を抑え、研修へ活かしています
- 技術+開発チームから評価されるビジネススキル教育

## ■ 研修前と研修後で仕事に対する意識が変わりましたか？

※直近のプロエンジニア育成コース受講者50名からのアンケートから抜粋



- 意識改革があり、180度変わった！
- 仕事に対する意識が変わった！
- 少し変化がある
- あまり変わらない

## ■ 研修前と研修後で仕事に対する意識が変わりましたか？（理由）

- ・ 言われたことをやればいいやという考えが今まであったが、自主的に行動していかないとスキルアップは望めないことがわかり、今後は積極的に行動していきたいと思った
- ・ 納期に対する意識が変わった。  
また、納期を守るために業務中の報連相の重要性が研修前より理解できた
- ・ わからないことを考えて時間を無駄にするぐらいなら  
わからないことを質問するための整理をするなど、  
考え方を变える努力の必要性があることをこの研修を通して学んだ
- ・ ただコードを書くだけではだめだと本当に思いました。  
今後レビューが少し不安になりました
- ・ 納期意識などは経験があったため仕事に対する意識はあまり変化なし

**学習目的:** アルゴリズムからきっちりフォローすることでプログラムに対する嫌悪感を解消。

コードレビューによる具体的な指導で「**読みやすいプログラム**」を書く習慣が身につく

**研修内容:** 弊社独自のWebテキストを用い、プログラミング演習

理解度を確認するために小テストを実施※3ヶ月コースは2ヶ月コースより時間をかけて指導します

**アルゴリズム**  
フローチャート  
線形探索  
ソート

**Java**  
クラス  
コレクション  
MVCモデル

```
Connection connection = null;
PreparedStatement preparedStatement = null;

try {
    Class.forName("org.postgresql.Driver");
    connection = DriverManager.getConnection("jdbc:postgresql://localhost:5432/lessondb",
    String[] shohinId = { "030", "031", "032" };
    String[] shohinName = { "SHOHIN030", "SHOHIN031", "SHOHIN032" };
    int[] tanka = { 3000, 3100, 3200 };

    String SQL = "INSERT INTO TB_SHOHIN (SHOHIN_ID, SHOHIN_NAME, TANKA) VALUES( ?, ?, ? ) ";
    preparedStatement = connection.prepareStatement(SQL);

    int result = 0;

    for (int i = 0; i < shohinId.length; i++) {
        preparedStatement.setString(1, shohinId[i]);
        preparedStatement.setString(2, shohinName[i]);
        preparedStatement.setInt(3, tanka[i]);

        result += preparedStatement.executeUpdate();
    }

    System.out.println(result + "件登録しました。");
} catch (ClassNotFoundException | SQLException e) {
    e.printStackTrace();
} finally {
    try {
        if (preparedStatement != null) {
            preparedStatement.close();
        }
        if (connection != null) {

```

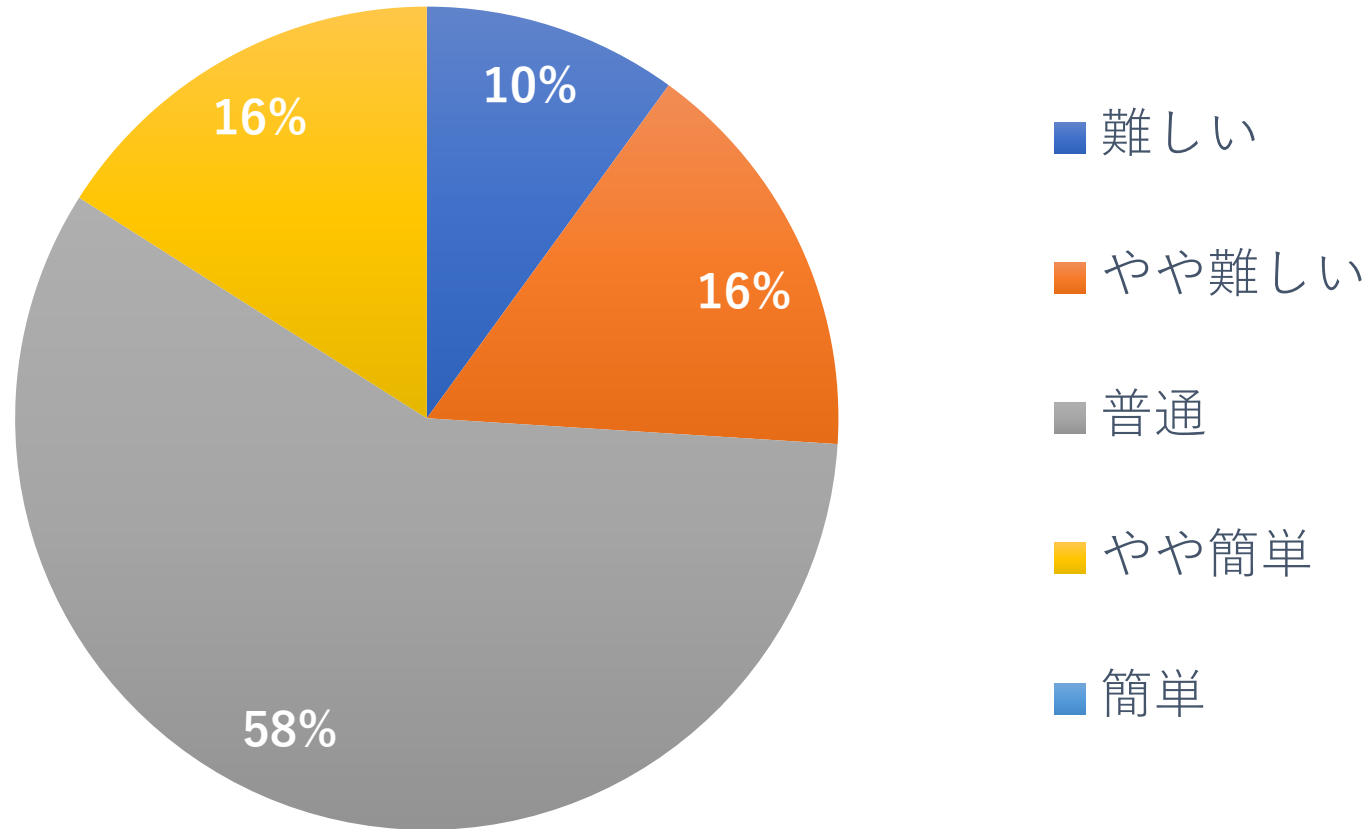
**PostgreSQL**   
SELECTなど  
テーブル結合  
サブクエリ

Java基礎面のみの  
研修となるため、  
既にJava以外の  
言語経験者向け



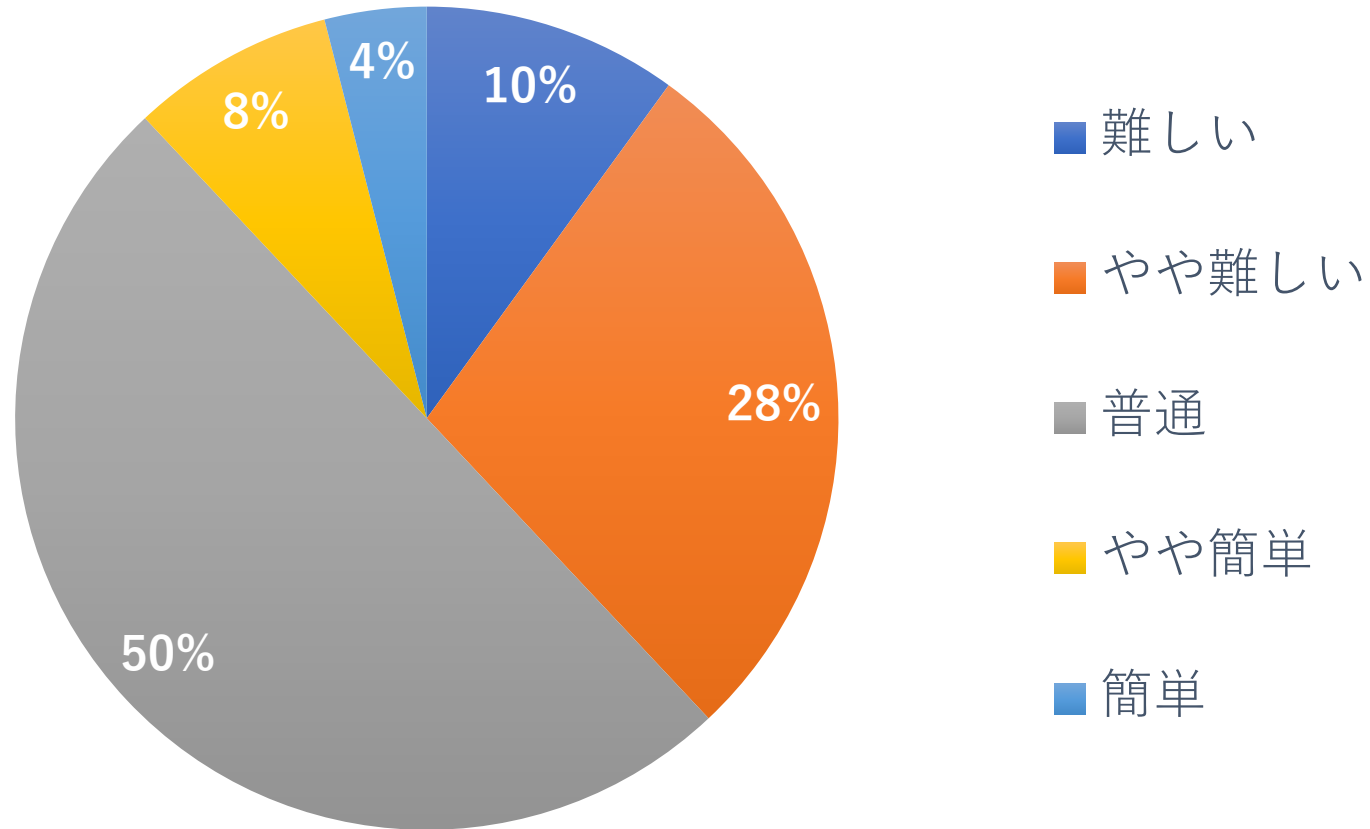
## ■ アルゴリズムテキストの難易度はいかがでしたか？

※直近のプロエンジニア育成コース受講者50名からのアンケートから抜粋



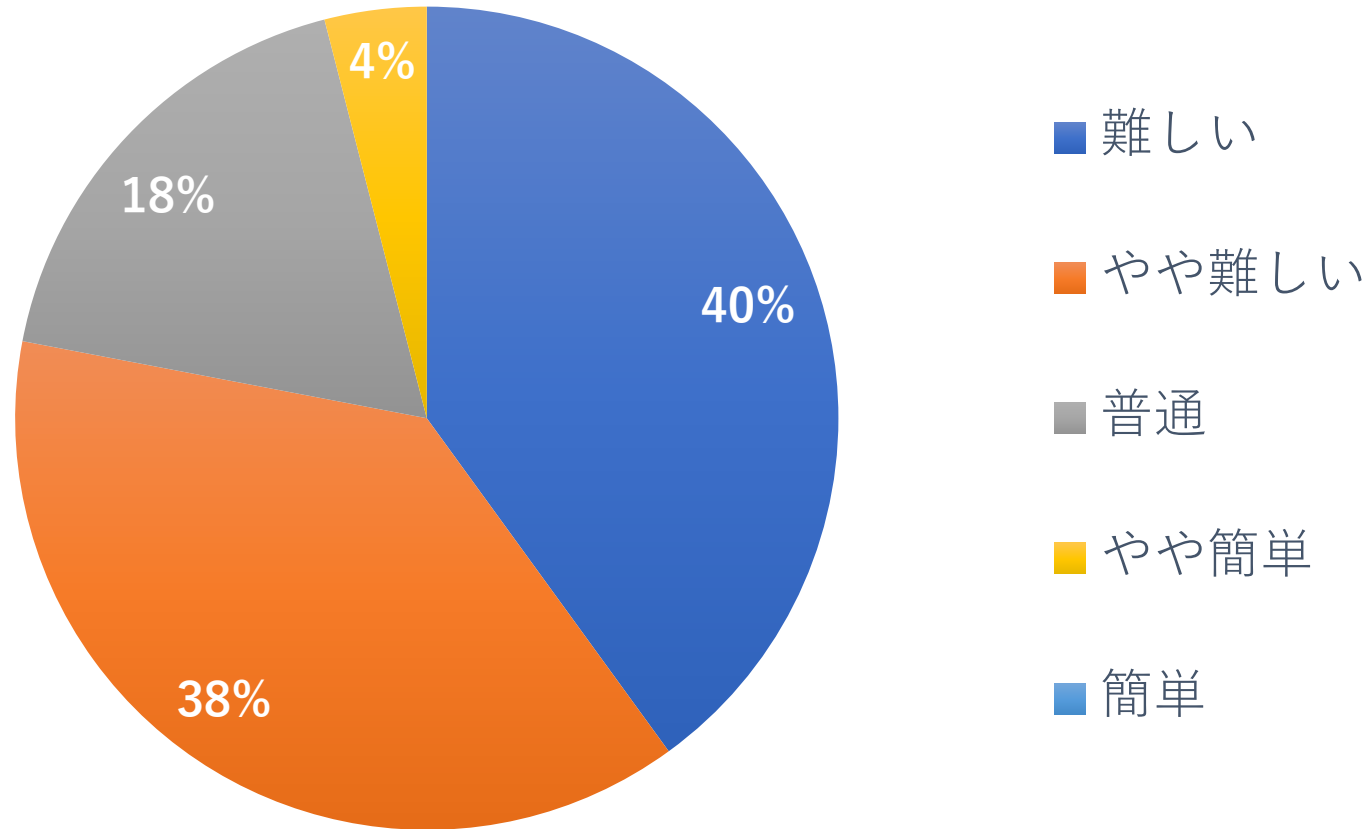
## ■ SQLテキストの難易度はいかかでしたか？

※直近のプロエンジニア育成コース受講者50名からのアンケートから抜粋



## ■ Javaテキストの難易度はいかかでしたか？

※直近のプロエンジニア育成コース受講者50名からのアンケートから抜粋



## ■ 難しいと答えた方へ。難しく感じた理由を教えてください。

### アルゴリズム

- ・イメージがつきにくく苦手意識を持ってしまった。

### SQL

- ・サブクエリを使った問題が絞り込むイメージを掴みづらく難しかったです。
- ・最初の方は解けるが後になるほど難しくて解けなくなっていった。特に、結合などが難しかった。

### Java

- ・基礎的ではあるが深いところ(型や引数等)について応用が効かず、同じ部分でのつまづきが多かった。
- ・MVCモデルが最も難しかったです。中でもBeanクラスの存在を理解することに時間が掛かりました。Model・View・Controllerがそれぞれ何の為に存在しているのか理解することでクラスの役割を理解することが出来ました。

**学習目的**：システム開発の体験※2、3ヶ月コース限定。受講人数により個人・チームと人数が変わります

Spring Frameworkの使用。※最終日に理解度テストと振り返りを実施

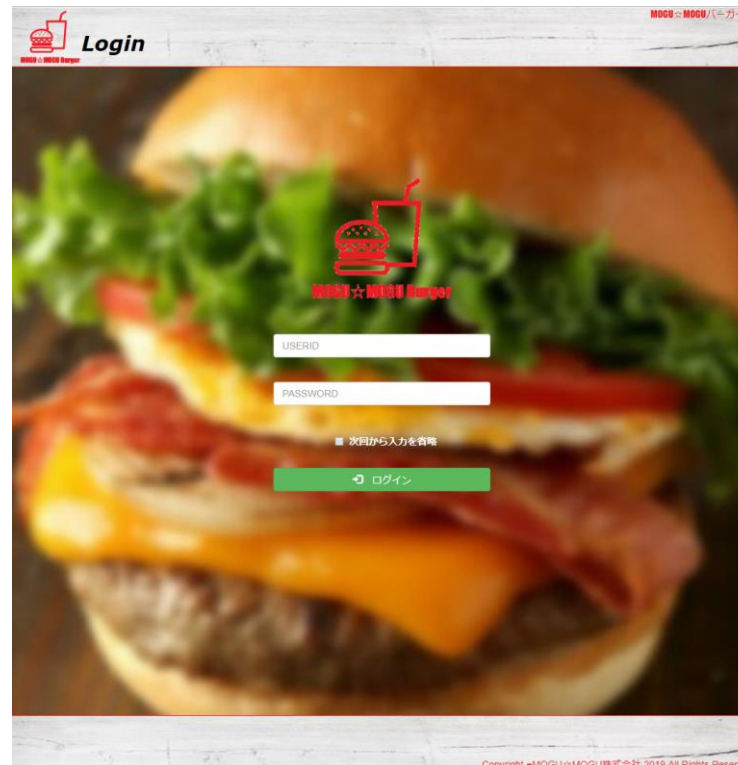
**研修内容**：Java基礎 + 弊社独自の開発課題を用い、社内向け簡易ニュースサイトを作成

## Spring Framework

DI(依存性注入)  
入力チェック  
Spring Security

## 仕様書

UML図読取  
単体仕様書作成  
結合仕様書作成



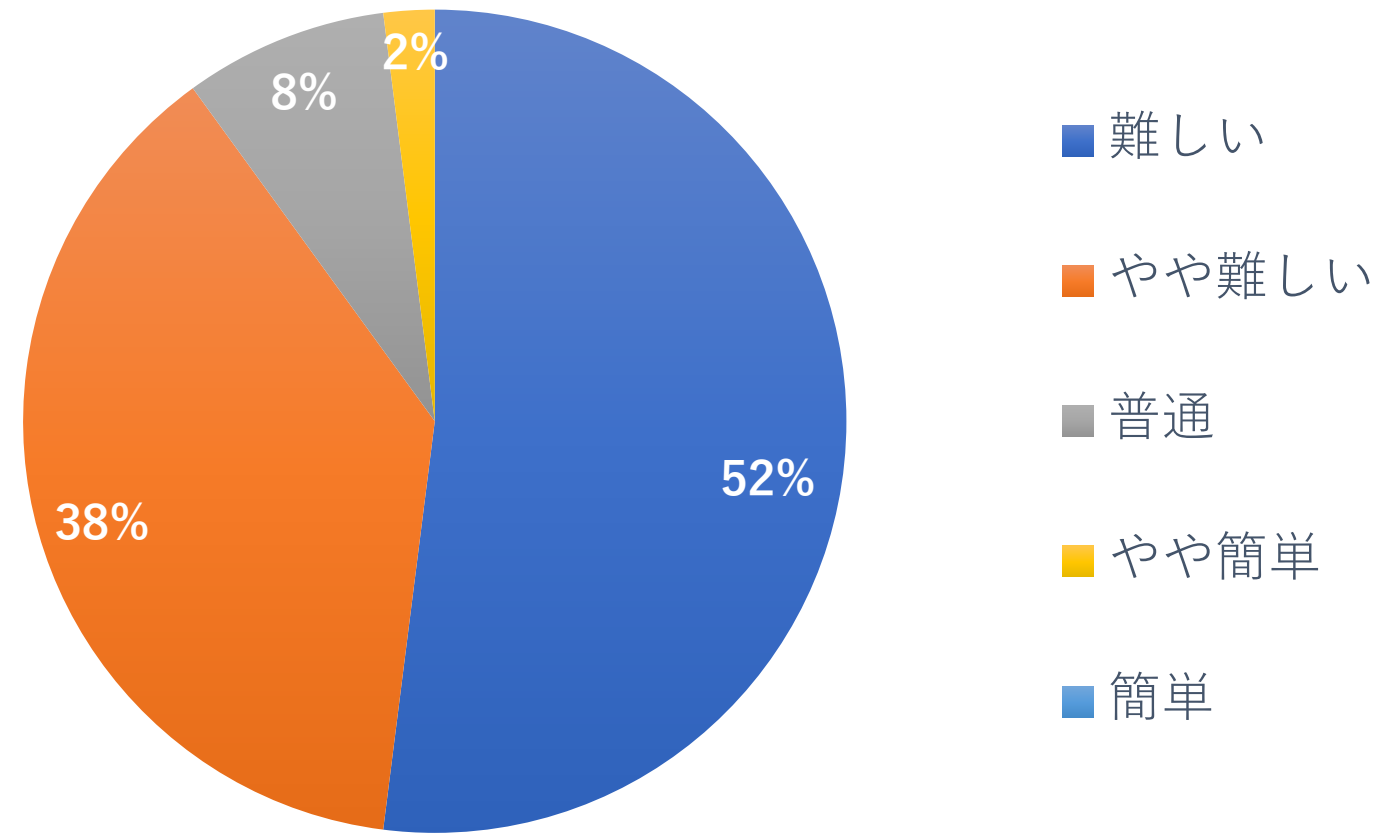
## レビュー

処理仕様書  
単体テスト仕様書  
コードレビュー  
結合テスト仕様書

技術面だけでなく  
ビジネス面も取得可。  
**異業種からの転職者**に  
お勧め

## ■ Java開発課題の難易度はいかかでしたか？

※直近のプロエンジニア育成コース受講者50名からのアンケートから抜粋



## ■ Java開発課題の難易度はいなかでしたか？（理由）

- ・フレームワークの苦手意識が無くなれば、あとは今までの研修でやってきたことがほとんどなので問題なく進める
- ・インストラクターの助言があれば対応でき、課題の難易度はテキスト範囲内のもので、自身の理解不足のみと感じました
- ・仕様書など作成した事がなかったので、作成するのに時間がかかってしまったり、チーム内の連携が難しかったです
- ・仕様書や製造を完全に理解して人に説明することが難しいと感じました。多少わかっていても説明ができなければ意味がないので苦労しました
- ・チームから離れていると情報共有ができず（自分からしなかったせいもある）、スケジュールを把握できなくなりチームメンバーとの焦り方が変わってしまうことがわかった

## ■ 講師の対応について

- ・分からない箇所を質問した際、上手く例え話などを交えてプログラムにまだ馴染みの無い自分にも理解させてくれようとしていることが伝わった
- ・タイプの異なるインストラクターの方がいたが、どちらに質問をさせて頂いても最終的には納得のいく答えに辿り着くことが出来た
- ・プログラミングで行われていることを紙に図で書いて説明して下さった時、自分の頭の中で何が分かってなくて何に困っているのかを整理できました。おっしゃってる内容が理解できない時も、途中で呆れたような態度をとることもなく丁寧に教えてくださり、本当に質問しやすかったです
- ・直接的な表現は避けた教え方なので考える力は身につくかとは思いますが、抽象的に感じた部分もありました



課題	日程	研修時間：9時～18時 ※12:00-13:00は休憩時間		
		課題目的	詳細	1ヶ月
オリエンテーション、 アルゴリズム	2日 (16H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムを学びプログラムの考え方を理解、特定の問題を解く手順（アルゴリズム）を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズム、変数と代入文、フローチャートの理解</li> </ul>	●
Java基礎	7日 (56H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Javaの基礎、プログラムの記述を学ぶ。</li> <li>・オブジェクト指向の特性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの基本、変数、四則演算、比較演算子、論理演算子、型変換の理解</li> <li>・配列、制御文の使い方</li> <li>・クラスやオブジェクトの考え方、コンストラクタ、オーバーロード、クラスの継承、オーバーライド、インターフェース、例外処理などの理解</li> </ul>	●
SQL基礎	3日 (24H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SQLの基礎、データベースの役割を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースとは</li> <li>・SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文</li> <li>・表の結合、グループ、副問い合わせ、クエリの結合</li> </ul>	●
Java Webアプリケーション	7日 (56H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webアプリケーション、MVCモデルの仕組み理解、APIドキュメントの読み方、使い方を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく使われるAPIの使い方</li> <li>・JDBCの理解（データベースアクセス方法の理解）</li> <li>・Servletの理解、JSPの理解、HTML、JavaScriptの理解</li> <li>・MVCモデルの理解</li> </ul>	●

※課題の日程は月の営業日により若干変動があります。リモート受講の場合、一部内容に変更が出る可能性があります。

課題	日程	研修時間：9時～18時 ※12:00-13:00は休憩時間		
		課題目的	詳細	2ヶ月
オリエンテーション、 アルゴリズム	2日 (16H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルゴリズムを学びプログラムの考え方を理解、特定の問題を解く手順（アルゴリズム）を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルゴリズム、変数と代入文、フローチャートの理解</li> </ul>	●
Java基礎	7日 (56H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Javaの基礎、プログラムの記述を学ぶ。</li> <li>オブジェクト指向の特性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの基本、変数、四則演算、比較演算子、論理演算子、型変換の理解</li> <li>配列、制御文の使い方</li> <li>クラスやオブジェクトの考え方、コンストラクタ、オーバーロード、クラスの継承、オーバーライド、インターフェース、例外処理などの理解</li> </ul>	●
SQL基礎	3日 (24H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SQLの基礎、データベースの役割を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースとは</li> <li>SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文</li> <li>表の結合、グループ、副問い合わせ、クエリの結合</li> </ul>	●
Java Webアプリケーション	8日 (64H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webアプリケーション、MVCモデルの仕組み理解、APIドキュメントの読み方、使い方を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく使われるAPIの使い方</li> <li>JDBCの理解（データベースアクセス方法の理解）</li> <li>Servletの理解、JSPの理解、HTML、JavaScriptの理解</li> <li>MVCモデルの理解</li> </ul>	●
Java開発演習① ※複数名いる場合、 チーム実施	17日 (136H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>MVCモデルを意識した設計、プログラムの作成ができるようにさせる。</li> <li>仕事の立振舞い(報告・連絡・相談、スケジュール管理など)を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計書を元に詳細設計～結合テストまでを実施。 ※テスト項目書の作成も実施</li> <li>FW(Spring)の理解。</li> <li>Eclipseの高度で便利な開発支援機能に慣れる。</li> <li>要所でレビューを実施。</li> </ul>	●
振り返り、 理解度試験	1日 (8H程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Javaの理解度確認</li> <li>2か月の振り返りを行い配属後の成長を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Java理解度試験</li> <li>KPT(研修振り返り)</li> </ul>	●

※課題の日程は月の営業日により若干変動があります。リモート受講の場合、一部内容に変更が出る可能性があります。

課題	日数	研修時間：9時～18時 ※12:00-13:00は休憩時間		
		課題目的	詳細	3ヶ月
オリエンテーション、アルゴリズム	2日 (16H程度)	・アルゴリズムを学びプログラムの考え方を理解、特定の問題を解く手順（アルゴリズム）を考えることができる。	・アルゴリズム、変数と代入文、フローチャートの理解	●
Java基礎	10日 (80H程度)	・Javaの基礎、プログラムの記述を学ぶ。 ・オブジェクト指向の特性を理解する。	・プログラムの基本、変数、四則演算、比較演算子、論理演算子、型変換の理解 ・配列、制御文の使い方 ・クラスやオブジェクトの考え方、コンストラクタ、オーバーロード、クラスの継承、オーバーライド、インターフェース、例外処理などの理解	●
SQL基礎	3日 (24H程度)	・SQLの基礎、データベースの役割を理解する。	・データベースとは ・SELECT文、INSERT文、UPDATE文、DELETE文 ・表の結合、グループ、副問い合わせ、クエリの結合	●
Java Webアプリケーション基礎	12日 (96H程度)	・Webアプリケーション、MVCモデルの仕組み理解、APIドキュメントの読み方、使い方を学ぶ。	・よく使われるAPIの使い方 ・JDBCの理解（データベースアクセス方法の理解） ・Servletの理解、JSPの理解、HTML、JavaScriptの理解 ・MVCモデルの理解	●
Java Webアプリケーション実践	11日 (88H程度)	・MVCモデルを意識した設計、プログラムの作成ができるようにさせる。 ・仕事の立振り舞い(報告・連絡・相談、スケジュール管理など)を実践する。	・製造、単体テスト工程を実施 ・Eclipseの高度で便利な開発支援機能に慣れる。 ・要所でレビューを実施。	●
UNIXコマンド	2日 (16H程度)	・Windows環境以外の環境理解とコマンドの使い方を学ぶ。	・UNIXコマンド基礎	●
Java開発演習 ※複数名いる場合、チーム実施	17日 (136H程度) + 1日振り返り理解度試験	・MVCモデルを意識した設計、プログラムの作成ができるようにさせる。 ・チーム開発の場合、情報共有、チームコミュニケーションの取り方を実践する。	・基本設計書を元に詳細設計～結合テストまでを実施。※テスト項目書の作成も実施 ・FW(Spring)の理解。 ・Eclipseの高度で便利な開発支援機能に慣れる。 ・要所でレビューを実施。	●

※課題の日程は月の営業日により若干変動があります。リモート受講の場合、一部内容に変更が出る可能性があります。

## ■ 研修費用(通学・オンライン共通)

①Java1ヶ月コース(1名) : **190,000円(税別)**

②Java2ヶ月コース(1名) : **375,000円(税別)**

※Java基礎1ヶ月+開発演習1ヶ月(FW・Spring使用)

③Java3ヶ月コース(1名) : **550,000円(税別)**

※Java基礎2ヶ月+開発演習1ヶ月(FW・Spring使用)

## ■ 研修費用のお支払いについて

研修終了日を締日として、翌月末払い。 例：研修が6月末で終了の場合、7月末払い。

**※通学・オンラインどちらかが埋まった場合、  
空いてる受講スタイルでのご案内になります。**

## ■ 人材開発支援助成金(人材育成支援コース)を1名で活用の場合で計算

### ①賃金要件・資格等手当要件を満たす場合(Java2ヶ月コース)

賃金助成:  $960円 \times 304H = \underline{291,840円}$

経費補助:  $412,500円(2ヶ月コース研修費用+消費税10\%)$   
 $\times 60\% = \underline{247,500円}$

**合計: 539,340円受給見込み**

### ②生産性要件を満たさない場合(Java2ヶ月コース)

賃金助成:  $760円 \times 304H = \underline{231,040円}$

経費補助:  $412,500円(2ヶ月コース研修費用+消費税10\%)$   
 $\times 45\% = \underline{185,625円}$

**合計: 416,665円受給見込み**

### ①賃金要件・資格等手当要件を満たす場合(Java3ヶ月コース)

賃金助成:  $960円 \times 480H = \underline{460,800円}$

経費補助:  $605,000円(3ヶ月コース研修費用+消費税10\%)$   
 $\times 60\% = \underline{363,000円}$

**合計: 823,800円受給見込み**

### ②生産性要件を満たさない場合(Java3ヶ月コース)

賃金助成:  $760円 \times 480H = \underline{364,800円}$

経費補助:  $605,000円(3ヶ月コース研修費用+消費税10\%)$   
 $\times 45\% = \underline{272,250円}$

**合計: 637,050円受給見込み**

**※出席状況により金額に変動がありますのでご注意ください。**

## ■資料作成サポート対象コース ※申込時期により資料作成サポートができない場合があります。

### 人材開発支援助成金（人材育成支援コース）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001085508.pdf> ※人材開発支援助成金 詳細URL

## ■資料作成サポート範囲について ※企業様によって追加資料が求められる可能性があります

- ①研修開始前：計画申請資料作成サポート(様式1号、3-1号、第11号、見積書、研修カリキュラム、事業内職業能力開発計画の見本)
- ②研修終了後：受給申請資料作成サポート(様式5号、6号、7-1号、8-1号、12号、研修表紙、研修中の勤務表、領収書、通信ログ)

## ■作成サポート対象範囲外 ※不明点をご相談下さい

- ・支給要件確認申立書(共通要領様式第1号)
- ・事業所確認票、支払方法・受取人住所届、訓練別の対象者一覧(様式4号)、訓練実施計画変更届(様式2号)、OJT系の資料
- ・貴社名、受講予定者の氏名記載(手書き対応含む)、受講者の雇用保険番号の記載
- ・窓口の申請代行
- ・助成金事務局からの問い合わせ対応
- ・計画申請の期限5営業日以内のお申込みの場合

## ■助成金を活用するための事前確認事項

- ・直近6ヶ月以内に会社都合の解雇を行っていないか
- ・過去に助成金の不正受給、税金未払いなど指導を受けていないか

**※計画申請・受給申請と助成金受給を100%保証するサポートではありませんのでご了承下さい**

## ■ 研修期間(通学・オンライン共通)

・ 1ヶ月コース：約17日・約304H    ・ 2ヶ月コース：約38日・約304H    ・ 3ヶ月コース：約60日・約480H

※月の営業日数により受講日数、時間に変動があります。

※研修開始日と貴社の予定が合わない場合、研修スケジュールの調整も可能ですのでご相談下さい

## ■ 研修時間(営業時間)

・ 平日：9時～18時    ※1日8H、休憩時間：12時～13時、土日祝日は休み

※自社の勤務時間が1日8時間未満の場合、事前にご相談下さい。

## ■ 研修講師

・ 全員ジョブサポートの社員で講師としての教育訓練を積んだ現役の開発系エンジニアです。

## ■ 勤怠管理

- ・ 社内システムにて毎日の出勤、退勤、日報を管理。 ※勤怠不良が明らかに目立つ場合、ご相談させて頂いております

## ■ PCについて

- ・ 通学の場合、1人1台ノートPCを貸し出し

## ■ 管理者の研修中の受講見学について

- ・ 事前予約、1社2名様まででお願いしております

## ■ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 研修フロアに入る時の手消毒、マスク着用のご協力をお願いしております
- ・ 講師、受講者で感染者が発生した場合、一時的にオンラインに切り替えて受講を進めさせていただきます

※37.0℃以上の発熱、少しでも体調が思わしくないと感じられた場合、出席の見送りを頂いております



## ■ 受講者の勤怠管理

- ・ 出席確認：研修開始時に1日のスケジュール提出
- ・ 退勤確認：18時までに日報提出して退勤扱い

## ■ 研修管理、運営方法

- ・ ビデオ会議ツール、個別・グループチャットを活用して個人、グループでのやり取りが可能
- ・ 弊社でGoogleのGoogleworkspace・勤怠管理システムのアカウントを用意します。

## ■ 貴社で準備頂く物

- ・ PC(OS : Windows10・メモリ4G以上・カメラ付き推奨) ※Win11・OSがProだと研修受講に支障が生じる可能性があります
- ・ ネット環境(ビデオ会議ができる速度回線が必要です)

※会社に出社して受講される場合、社内ネットワーク環境、セキュリティルールを事前にご確認ください

## ■ Webカメラテスト、研修開始説明

- ・ 研修受講日の2営業日前までにWebカメラテスト、研修開始説明(1H程度)を行いWebカメラの疎通確認を行います

## ■ 週報

- ・毎週月・火で週報を営業担当が貴社へ提出。 ※1週間が2営業日以内の場合、翌週の週報とまとめて報告  
講師の作成した研修理解度、進捗状況、ヒューマンスキルなどの成長度合いを報告

※週報は助成金申請の書類として使用する事ができ申請資料の効率化になります

※受講者の受講状況により、研修のゴール調整の調整をさせていただきます

## ■ 研修修了報告書

- ・研修終了後、受講者の研修総括を作成  
技術理解度、ヒューマンスキル、講師から見た育成アドバイスを報告

## ■ 助成金申請資料 ※対象外の助成金を活用の場合、自社で助成金準備をする場合のみ対応

- ・研修スケジュール ・見積書 ・研修カリキュラム表紙 ・研修費の領収書 ※研修受講費の入金が確認後に作成
- ・通信ログ(TV会議、チャット等) ※オンライン・リモート講座受講者のみ
- ・勤務表 ※オンライン・リモート講座受講者のみ

※その他必要な書類がある場合、事前にご相談下さい。

## ■ 研修受講までの流れ



オンライン受講の場合、**研修開始2営業日前**までに  
Webカメラテスト・研修開始説明を1時間程度行うため  
調整のご協力をお願いします。

**入社日まで受講者が入社しない場合などはお早目にご相談下さい。**

## ■ その他参考情報

- ・ 研修実績(新人研修・プロエンジニア育成コース)  
<https://job-support.ne.jp/voice>
- ・ プロエンジニア育成コース(Java2・3か月)の受講者アンケート回答と所感  
<https://job-support.ne.jp/blog/java-training/question>
- ・ 2023年新人SE・PG向けJava研修(2・3ヶ月コース)  
<https://job-support.ne.jp/new-face-Java-course2021>
- ・ 通年開講プロエンジニア育成コース(Java1~3ヶ月)  
<https://job-support.ne.jp/course>

**研修の成果を最大化させるために研修前に受講予定者と  
研修目的、研修内容の共有をお願い致します。**

**ジョブサポートのエンジニア研修については、下記からお気軽にお問い合わせください。**

自ら学び、創造する人材へ



社名

株式会社ジョブサポート

所在地

東京都千代田区飯田橋3-11-13 飯田橋 i-MARK ANNEX8階  
東京都文京区本郷3-43-16 コア本郷ビル5階B室

事業内容

法人向けプロエンジニア育成事業（Java・フロントエンド）  
IT研修教材の企画・開発（Java・フロントエンド）  
業務系アプリケーション企画・開発・運用保守  
スマートフォン向けアプリケーション企画・開発・運用保守  
有料職業紹介事業（有料職業紹介許可 13-ユ-303892）



[job-info@job-support.co.jp](mailto:job-info@job-support.co.jp)



<https://www.job-support.ne.jp>